

# 名古屋市議団ニュース

## 公明党 新型コロナ“第3波”から市民を守る！



■運用が始まる市の「移動式PCR検体採取車」を視察する公明党名古屋市議団(市役所)

【右から】中村満(中村区)、三輪芳裕(天白区)、木下優(中川区)、長谷川由美子(北区)、小林祥子(名東区)、田辺雄一(千種区)、金庭宜雄(守山区)、さわだ晃一(西区)、吉岡正修(港区)、近藤和博(緑区)、さかい大輔(南区)

名古屋市会は11月20日から12月9日の日程で11月定例会を開き、「臨時特別定額給付金」などの新型コロナ対策や小学校タブレット端末の購入等の議題を論議する。議論では、市議団は新型コロナ対策を積極的に受け入れようとしているが、市長は専用病床の確保を行なうなど、専用病床の確保を求めてきました。

### 11月定例会で論戦 コロナ対策進む

補正予算案を審査・議決しました。公明市議団は本会議や委員会において、コロナ禍で大変な状況にある市民生活を支えるための様々な提案や要望を行いました。(本会議質問の内容は2面・3面に掲載)



### 速報! 東部医療センター！年度内コロナ患者専用病床増設へ

『第3波』により名古屋市内の新型コロナ患者専用病床がひつ迫する中、公明市議団は12月3日に新型コロナ専用病床への整備に向けた調査を進めていた。東部医療センター(旧東病棟)を視察しました。市議団は去る8月28日に公立病院として新型コロナ患者を積極的に受け入れよう市長申入れを行なうなど、専用病床の確保を求めてきました。11月27日の市議団の本会議質問に対して、健康

政策担当の市役所職員は、市独自に給付するもので、亡くなられた方一人につき10万円を市独自に給付するもので、政令指定都市では初の事業化

市の「臨時特別定額給付金」の支給が決定しました。この事業は国民一人あたり10万円の特別定額給付金の受給資格がありながら、市の申請期限の2020年9月1日までに世帯構成員全員が亡くなられたために受給できなかつた方のご遺族の代表の方に対しても、亡くなられた方一人につき10万円を市独自に給付するもので、政令指定都市では初の事業化

## 速報! 臨時特別定額給付金が実現

となりました。約千六百人が対象、申請は21年2月21日まで。

これは6月にしてこなった単身世帯の方のご遺族から、公明市議団に寄せられた市民相談がきっかけとなり実現しました。市議団では市長要望や本会議質問などで繰り返し事業化を求めてきました。

※注 令和2年4月27日において住民基本台帳に記録されているもの



### 感染防止は基本を徹底することから

- マスクの着用
- 三密回避
- しっかり手洗い



### 感染リスクが高まる5つの場面

- ①飲食を伴う懇親会等
- ②大人数や長時間におよぶ飲食
- ③マスクなしでの会話

- ④狭い空間での共同生活
- ⑤居場所の切り替わり

- [2面・3面] ●11月定例会個人質問から
- 新型コロナ対策支援教えて！コーナー④
- [4面] ●進め！防災・減災⑥ ●実績紹介「はいかい高齢者検索システム」
- トピックス・レッサーバンダが仲間入り！



## コロナ禍におけるH－V検査について

新型コロナの影響により、市では保健所でのH－V検査を中止しているために検査数が大幅に減少しており、民間の検査機関による郵送検査だけでは検査結果の信頼性や結果通知後のフォローアップに課題が指摘されているため、公的機関である保健所での検査機会の確保が必要であることを訴えました。市は、検査機会の確保は最優先課題とし、検査の早期再開に向け検討すると答弁しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## コロナ禍における投票所について

コロナ禍において感染対策に配慮した投票所の運営は有権者の安心と安全には大変重要であることから、特に体温測定やマスク着用に対する本市の考え方を質問しました。市は発熱等がある方には投票所の従事員に申し出ていただき手袋の着用や周囲との距離の確保を実施する」と、マスクを着用していない方に配布するための予備のマスクを用意していきたいとの答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## 本市の公共交通について 新型コロナ対策について

公営交通の新型コロナ感染防止対策として、利用者の安心と安全のために多くの自治体が市バス・地下鉄等の車内に抗ウイルス・抗菌処理加工を実施していることを踏まえて、名古屋市営交通の市バス・地下鉄と観光ルートバス「メーブル」に同様の処理を行うことを提案しました。交通局からは来年度にバス・地下鉄1800両に実施するとの答弁があり、観光文化交流局はメーブル5両について速やかに実施すると答えました。交通局には少でも早く始めるよう強く要望しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## 交通事故死ゼロの日の活動について

交通事故を一件でも減らすため、市では現在、横断旗等を使用した交通安全運動に取組んでいますが、今以上に効果を上げるために更に「ハンドフレート」や「のぼり旗」および「横断旗」等、視覚に訴える啓発活動を提案しました。市は広く啓発できる大変有効な方法であるとして地域の実情を踏まえ、地域や区役所および関係機関と連携しながら視認性の高い活動についても取組んでいきたいと答弁しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## コロナ禍における航空宇宙産業への支援について

愛知県を中心とする中部工エリアは航空宇宙産業において国内全体の生産額で約5割を占め、航空宇宙産業分野では国内唯一の国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙クラスター形成特区」であり、名古屋市でも雇用創出や経済効果の広がりから重点産業分野の成長産業と位置付けられていますが、新型コロナの影響で壊滅的なダメージを受けています。これら市内の航空宇宙産業関連中小企業への支援について質問しました。経済局長からは「航空宇宙産業の灯を消してはいけない」「企業が事業を継続し、さうに発展できる支援をしていく」との答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## 増え続ける使用済み紙おむつの資源化について

高齢化に伴い確実に増えている使用済み紙おむつについて、将来的な資源化に対する市の認識を質したうえで、紙おむつの資源化にとって必要な民間事業者の協力を得るため、事業化に必要な本市からの排出される使用済み紙おむつの実態把握や将来推計を早期に着手することを提案しました。市は使用済み紙おむつの推計量の算出に早期に取り掛かると答弁しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## ヤングケアラーへの対応について

家族の介護や世話など重い負担を抱えながら学校に通っている18歳未満の子ども、いわゆるヤングケアラーへの本市の認識と対応について、教育委員会・子ども青少年局・健康福祉局に質問しました。市からは学校で出来る支援の検討、子どもの権利をしっかりと認識できるような取組、介護サービス・障害福祉サービスの提供など答弁がありました。本市独自の実態調査の速やかな実施や、子どもの権利を守る全庁的な体制の構築を強く要望しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

### 介護用紙おむつの着け方・選び方に 関する相談事業の創設について

介護に関する実態調査や排せつケアコールセンターに寄せられた相談の中で、約5割の方が排せつ行為に関して負担を感じている実態が明らかになつたことを受け、紙おむつ支給事業の前段階として、在宅で介護を受けている一人ひとりの状況に合ったおむつの着け方や選び方など排せつに関するケアを自宅で継続的に受けられるような体制を整備するよう求めました。市からは来年度からの実施に向けて検討するとの答弁がありました。

### 民間事業者等からの提案を 全市的・一元的に受け付ける 窓口設置について

大都市である名古屋市が抱える課題は、非常に多様化し複雑化しており、行政の知恵と力だけでは対応できないことを指摘。先進都市の事例を紹介しつつ、民間事業者や大学と積極的に連携を進めるために、提案や相談を全市的・一元的に受け付ける窓口を設置すべきと提案しました。市は民間との連携は大変重要と述べたうえで、窓口の設置に向けて積極的に取組むと答弁しました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

新型コロナの第3波を受けて市内の新型コロナ患者専用病床がひつ迫している状況から、公明市議団としてかねてより提案し推進してきた現在利用を停止している東部医療センター旧東病棟の新型コロナ患者専用病床としての再整備について現状と展望を質問しました。病院局とともに調査を実施している健康福祉局からは、「20床程度を確保したいと考えている」「今年度末までには整備ができるよう進めています」との答弁がありました。



©KOMEI NAGOYA



本会議中継動画

## 東部医療センター旧東病棟における 新型コロナウイルス感染症患者専用病床 の確保について

### 新型コロナ対策 支援 教えて! コーナー ④

#### 新型コロナの影響で収入が減少した方への生活支援

申請期間を2021年3月末まで延長

**緊急小口資金貸付**

緊急かつ一時に生計の維持が困難となった場合に、貸付を行います。

**[対象者]**新型コロナウイルスの影響で収入の減少がある世帯。

**[貸付上限額]**20万円以内

**[据置期間]**1年以内

**[償還期限]**2年以内

**[貸付条件]**無利子・保証人不要

※まずは電話を。区によっては予約制になっているところもあります。

郵送による申請書の取り寄せおよび郵便申請も受け付けています。申請後6日ほどで振り込まれます。

**[ご相談・お問合せ先]**お住いの区の社会福祉協議会へ

**総合支援資金**

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

**[対象者]**新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯。

**[貸付上限額]**(2人以上)月20万円以内／(単身)月15万円以内 ※原則3カ月以内の貸付

**[据置期間]**1年以内

**[償還期限]**10年以内

**[貸付条件]**無利子・保証人不要

※特別処置により、償還において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除する場合があります。

**住居確保給付金**（※最長12カ月まで拡充）

新型コロナウイルス感染拡大の影響等で収入が減少し、住居を失っているまたは住居を失う恐れのある方に対し、賃貸住宅の家賃の支給等の支援を行います。(不動産業者または大家等への口座へ直接振り込まれます。)

**[支給対象者]**

- やむを得ない休業等により収入が減少したことで経済的に困窮し、住宅を失っている又は住居を失う恐れがあること
- 申請日の月の、申請者及び申請者の世帯全員の収入の合計額が収入基準額以下であること。
- 申請日における世帯全員の預貯金の合計額が下表の基準額を6倍した額(ただし、100万円を超えないものとする。)以下であること。
- その他、国や地方自治体が実施する雇用施策による給付等を申告者と世帯構成者が受けっていないこと、などの要件があります。詳しくは該当する下記サポートセンターにお問い合わせ下さい。

**[支給額]**右表の家賃額を上限とする **[支給期間]**原則3カ月(条件により2回の延長が可能。最長9カ月。更に所定の条件を満たした場合に3カ月、計12カ月まで延長)

**[ご相談・お問合せ先]**お住いの区を担当している仕事暮らし自立サポートセンターへ

世帯人数	基準額	家賃額(上限)	収入基準額
1人	84,000円	37,000円	121,000円
2人	130,000円	44,000円	174,000円
3人	172,000円	48,000円	220,000円
4人	214,000円	48,000円	262,000円
5人	255,000円	48,000円	303,000円

名古屋市健康福祉

「進み!  
防災・減災⑥」  
防災啓発冊子  
『くらして、そなえて。なごやBosaiブック』

名古屋市は2019年11月、防災啓発冊子『くらして、そなえて。なごやBosaiブック』を作製しました。この冊子の趣旨は、女性の視点を踏まえ、手に取った方が日常生活の延長で気軽に防災を始めることを目的としています。公明市議団は18年11月の本会議で「避難所では女性特有のニーズや衛生用品の不足などさまざまな課題が明らかになり、防災対策に女性視点をより反映させが必要」と指摘し、携帯しやすいハンドブックの作製を提案。市は女子検診等いろいろな場面で活用されています。

実績紹介  
GPSを用いた  
「名古屋市はいかい高齢者検索  
システム事業」を実現!

高齢社会により認知症の方が増えている中、本人とそのご家族が安心して暮らせるまちづくりを目指し名古屋市では行方不明者の早期発見に有効なGPS(全地球測位システム)を用いた検索システム事業が2019年10月1日より本格実施されています。市は登録した事業者のGPS機器に係る経費の一部を利用者に助成しています。利用者は会員登録のうえGPS端末を携帯し、行方不明時に家族等が登録事業者に連絡することにより、行方不明者の位置確認ができます。事業者がタクシー会社で



GPS サービス端末



はいかい高齢者  
検索システム

あれば駆けつけ保護サービスも依頼できます。市の利用者数は20年11月末で計207名。登録事業者は5社ありGPS端末貸与の初期費用は無料、月額利用料は利用者一割負担(242円ほど)です。公明市議団は、GPSを活用し利用者負担に十分配慮した事業の実施を提案してきました。



なごやBosaiブック  
ダウンロード

所・支所、図書館、生涯学習センター等で配架されているほか、保健センターで実施する母子検診等いろいろな場面で活用されています。



トピックス

2021年1月  
東山動植物園  
レッサーパンダが仲間入り!



獣舎を視察する公明市議団

パンダの飼育と公開を要望してきました。東山動植物園は静岡市立日本平動物園など3園から3頭のレッサーパンダを借り受け、2021年1月29日から公開します。名前はそれぞれ、まるこ(メス、2歳)、令(オス、1歳)、ずん(オス、2歳)。公明市議団は11月9日、レッサーパンダの飼育と公開に向けて準備を進める東山動物園を訪れ獣舎の視察を行いました。獣舎は8頭の飼育が可能となつたがつた運動場が備えられています。市議団は委員会等で絶滅危惧種でもあるレッサー



東山動植物園